



# 危険物安全週間 6月6日(日)～同12日(土)

危険物を取り扱う関係事業所をはじめ、市民の皆さんに危険物に対する意識を高めてもらうことを目的に、全国一斉に毎年実施しています。

## 身近にある危険物

ガソリン、軽油、灯油、消毒用アルコール、塗料、アロマオイル、ヘアスプレーなどは日常生活の中でなくてはならないものです。身の回りで使っている物に、次のような表示があれば、それは危険物です。

### 【例】火気厳禁 アルコール類 危険等級Ⅱ

※このような表示がある物は、火気の近くで使用したり、放置したりしないでください。

### ●甲種防火管理新規講習

📅 7月28日(水)、同29日(木) 定員52人

📍 ひこね市文化プラザ(野瀬町)

📅 6月15日(火)～同22日(火)

※受講申込等については、「一般社団法人日本防火防災協会」のホームページをご確認ください。

📍彦根防火保安協会(消防本部消防総務課内)

☎22-0314 ☎22-9427

## 消毒用アルコールの安全な取扱いについて

消毒用アルコールは、火に近づけると引火しやすく、またアルコールから発生する蒸気は可燃性があり、低いところに溜まりやすいため、次のことに注意し、取り扱うようにしてください。

- ✓ 火気の近くで使用しない。
- ✓ 容器の設置や保管は、直射日光が当たる場所や高温となる場所を避ける。特に、炎天下の車内は高温となるため、車内には容器を絶対に放置しない。
- ✓ 容器に詰め替える際は、漏れ、あふれ、飛散しないよう注意する。また、詰め替えた容器には「消毒用アルコール」や「火気厳禁」などの注意事項を明記し、容器を落下させたり、衝撃を与えないようにする。
- ✓ 室内の消毒や容器詰め替えなどは、アルコールの可燃性蒸気が滞留しないよう、風通しをよくして行う。

## チケット情報

### ひこね市文化プラザ

8月8日(日・祝) 16:00 グランドホール

### HIDEAKI TOKUNAGA CONCERT TOUR 2021

指定 彦根市民先行・友の会・一般 8,800円

彦根市民先行【6月5日(土) 9:00～6月12日(土)19:00】

友の会【6月19日(土) 9:00～6月26日(土)19:00】  
一般【7月3日(土) 9:00～予約開始】



※彦根市民先行は、一部限定枚数での取扱いとし、予定枚数に達し次第、販売を終了します。  
※友の会販売期間に予定枚数に達した場合、一般販売は行いません。  
※チケットは1人4枚まで。席席の指定はできません。チケットの発券は7月3日(土)以降となります。  
※チケットの購入は、ひこね市文化プラザチケットセンター(☎27-5200)のみ。オンラインでの発券はありません。  
※彦根市民先行の支払いは窓口のみです。支払いの際、身分証の提示をお願いします。

### みずほ文化センター

6月26日(土)14:00 多目的ホール

### パントマイムショー「パントマの箱」

【自由】【好評発売中】前売500円、当日600円 ※2歳以上有料

NHK番組「おかあさんといっしょ」の人気コーナー「パント」の監修をしているカンジヤマ・マイム所属のありさお姉さんがやってくる小さな子どもから大人まで楽しめるしゃべりなパントマイム!ファンタジックな面白い物語が飛び出します。見て、参加して、ありさお姉さんと一緒にパントマイムを使って遊ぼう!

申込・お問い合わせ先 みずほ文化センター ☎43-8111 (9:00～17:00)

6月の休館日：1日(火)、8日(火)、15日(火)、22日(火)、29日(火)

【ひこね市文化プラザ各公演 発売初日の予約の取扱い】(徳永英明を除く)

※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。  
※窓口でのチケット引き取り・販売は 翌開館日 から承ります。

◎表記の価格は全て税込価格です。

◎入場制限のある公演は、託児サービスを実施します。子ども1人1,000円。各ホールまで事前予約が必要です。

【ひこね市文化プラザ・みずほ文化センターでは、次の感染症対策を実施しています】▶館内設備の定期消毒 ▶手指消毒液の設置 ▶飛沫飛散防止カーテンの設置 ▶非接触型体温計の常備 ▶新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサボ滋賀」の表示の設置

6月15日(火)まで

### 「花々の意匠 - 四季を彩る -」

古来、花は人々に愛され、その姿はさまざまなデザインに取り入れられてきました。本展では、梅や桜、蓮、菊など、四季折々の花をあしらった美術工芸品を紹介します。

6月18日(金)～7月14日(水)

### 「“写し” - 日本美術を読み解くキーワード -」

日本の美術において、オリジナルをもとに作られる「写し」は、優れた作品の技を学び、伝え、さらには新たな作品を生み出す原動力ともなっています。館蔵品を通して、さまざまな「写し」のあり方と特徴を紹介します。



▲能面 獅子口 友水庸久作

### ■スライドトーク

6月19日(土) 14:00～14:30

解説：当館学芸員 場所：講堂  
当日受付(先着35人) ※無料(観覧料は別途必要)

### 私の研究最前線

彦根城博物館の学芸員が、各自の研究テーマについて、日頃の研究成果を踏まえて解説します。

6月5日(土) 14:00～15:30

### 「伝承のなかの戦国 - 古城図・合戦記から見る近世の戦国観 -」

江戸時代の人びとによって戦国時代に取材した合戦記や城跡絵図が作られました。本講座では、記録や絵図の情報からその制作意図や背景などに迫ります。



▲丁野山砦跡絵図

講師：当館学芸員 場所：講堂  
当日受付(先着35人) ※100円(資料代、観覧料は別途必要)

■【休館日のお知らせ】6月8日(火)・16日(水)  
■6月15日(火)・同17日(木)は、展示替えのため一部休室します。



▲能面切型

美術作品において、オリジナルを元に作られた写しや模倣という、偽物やコピーといったマイナスイメージを持つ人が多いのではないのでしょうか。しかし、日本の美術において、写しは、単なるコピーに留まらないさまざまな要素を持っています。能面について見れば、写すという行為抜きに、これを語ることはできません。面はその種類ごとに、演目の内容や役柄に最もふさわしい型、つまり面の輪郭、目、鼻、口といったパーツの形や大きさ、配置、面の色、髪や鬚をはじめとする細部の表現までが決められており、近世以降、この型を踏襲することが制作の基本となってきました。さしは、しかるべき面として選ばれた、各流派宗家の本面の模倣も広く行われました。本面の多くは、南北朝時代から室町時代にさかのぼる古面で、造形的にも優れ、別格に扱われ、これをそっくり真似た写しも数多く作られています。面の写しを作る際、より正確に形を写す場合に使用された道具が、切型(上)の写しです。原本となる面の正中線、それに垂直に交わる複数の箇所、面

美術作品において、オリジナルを元に作られた写しや模倣という、偽物やコピーといったマイナスイメージを持つ人が多いのではないのでしょうか。しかし、日本の美術において、写しは、単なるコピーに留まらないさまざまな要素を持っています。能面について見れば、写すという行為抜きに、これを語ることはできません。面はその種類ごとに、演目の内容や役柄に最もふさわしい型、つまり面の輪郭、目、鼻、口といったパーツの形や大きさ、配置、面の色、髪や鬚をはじめとする細部の表現までが決められており、近世以降、この型を踏襲することが制作の基本となってきました。さしは、しかるべき面として選ばれた、各流派宗家の本面の模倣も広く行われました。本面の多くは、南北朝時代から室町時代にさかのぼる古面で、造形的にも優れ、別格に扱われ、これをそっくり真似た写しも数多く作られています。面の写しを作る際、より正確に形を写す場合に使用された道具が、切型(上)の写しです。原本となる面の正中線、それに垂直に交わる複数の箇所、面

## 能面における本面と写し

## とよきの玉手箱

博物館からのメッセージ

写真の作品は、テーマ展「写し - 日本美術を読み解くキーワード」で6月18日(金)7月14日(水)の期間、展示します。

の上端、目、鼻孔、口などの部分の輪郭を薄板に写し取ったもので、これを制作途中の面にあてがって形を調整し、原本の輪郭を再現します。写真の切型は「本面童子」という墨書から、流派は不明ですが、童子の本面の切型と考えられます。童子とは、永遠の若さを保つ美しい少年の相貌を表わした面のこと。その特徴である口元のエクボの位置と大きさ、歯の区切れ目といった細部の注記があり、断面には、制作途中の面にあてがった際のものとおぼしい墨跡が残っています。この切型を使って、実際に本面の写しを作られたのでしょうか。

【彦根城博物館学芸員 茨木恵美】